

栗真小だより



令和元年 10月31日発行



みんなの幸せのために



朝夕の冷たい空気に、秋の深まりを感じる頃となりました。先日は、授業参観に多数ご参加いただきありがとうございました。公開授業の3限目に各学年で人権について考える授業を行いました。さらに今後2学期に、一身田中学校区で人権フォーラムや人権フェスティバルも予定されています。内容は様々ですが、この学校でもこのような取組を行っています。しかしながら、日本中のあちこちで「虐待」や「いじめ」など子どもに関する痛ましい出来事があとを絶ちません。子どもの世界だけではなく、大人自らが、人権侵害に関わっている事件などもあります。人権とは、私たちが幸せに生きるための権利で世界中の誰もが持っている権利であるにもかかわらず、人は集団で暮らす中で不調和を醸し出します。自分の不快感をコントロールできずに、一方的に相手を攻撃することは許し難いことです。「いじめを許さない!」と頑張っても、人が見ていないところで繰り返されています。どうしたらいじめをなくすことができるのでしょうか?

そのために今、子どもたちに必要なのは、いじめに立ち向かう力を持つことだと思います。一人一人は弱いけれど、つながり合って、いじめに立ち向かうことだと思います。子ども同士の良好な人間関係さえあれば、きっと諸課題を解決してくれることと思います。



保護者の皆様から授業参観をご覧になった感想をいくつかいただきました。「栗真小は1年生から6年生までクラス替えがないので、このまま仲良く卒業してほしい」「相手の気持ちを考えて話したり、遊んだり出来るようになってほしい」「いやな思いをしたとき、いやだと言えないので、空

気を壊さず意思表示できる方法を子どもたちに教えてほしい」など、みんなの願いは同じです。また、「小学生の道徳であっても、大人も久々に本当の友情を考えるいい機会になった」との感想もありました。

スペインの9歳の女児アルセダさんが「友情のベンチ」を発案し、そのベンチを実際に学校に作って置いたという海外ニュースがありました。

「友情のベンチ」とは、誰かが座ると、隣に誰かがそっと座ってお話を聞いてあげるというベンチだそうです。小さなアイデアに未来への大きな希望を感じました。



◎「いじめ」と「けんか」の違いは何だろう、みんなで話し合いたいな。(小2)

◎子どもだけじゃない、「見て見ないふり」(中3)

これらは、今年の「全国いじめ防止標語コンテスト」で最高賞になった標語です。

平素から、ご家庭でも友人関係について子どもたちとお話をする機会を持っていただきたいと願っています。みんなの幸せのために、お互いに声を掛け合って安心してすごせる仲間がいる栗真小にしていきたいと思っています。

★4・5年生 10/16(水)～鈴鹿・四日市へ社会見学



旭化成鈴鹿製造所では、リカちゃん人形の髪を製造していて、いろいろな髪色をつくる事が出来るそうです。サランラップ製造の工夫についても学びました。

鈴鹿オートリサイクルセンターでは、分解されている車の部品について説明してもらいました。年間に1000台のリサイクルを目指しているそうです。



★1・2年生 10/18(金)「むかしのあそび」 10/21(月)秋のえんそく



地域の老人会のみなさまに来ていただきました。



三重大大学の雑木林で豊作のドングリ拾いに夢中になりました。

★10/25(金)6年生～新聞記者さんとの出会い～

読売新聞社津支局長の宇都宮さんに来ていただきました。新聞記者の仕事の苦労や喜び、新聞が出来るまでの流れや新聞の楽しみ方を知り、新聞記事に興味がわきました。



★10/28(月)5年生～自主防災協議会会長の岩中さんから学ぶ～



震災ボランティアの仕事は、土砂の片付けなどの力仕事だけではないことがわかりました。岩中さんは、仲間の方と一緒に、街に張り紙を二千枚も貼られたそうです。

★10/29(火)3年生～「インドネシアのおかしづくり」～



ナビルさんのご両親からインドネシアのおかしを教えてくださいました。左のお菓子は、ピサングレンです！！



★10/29(火)4・5・6年生が参加～♪津市中地区連合音楽会♪



毎日練習を熱心に積み重ねてきた成果が発揮された「パプリカ」栗真小バージョンで、心一つになった素晴らしい演奏でした。保護者の皆様の激励と応援ありがとうございました。